

令和4年度 香美町立村岡中学校 学校経営方針

校訓 自立・敬愛・礼節

学校教育目標 ふるさを愛し、自他を大切に、志高く未来を切り拓く生徒の育成

(村岡区目指すこどもの姿 : 自ら学び ふるさを誇り 笑顔あふれる子ども)

学校教育推進の視点 「村中プライド」の醸成
「あいさつでつながり、歌声に感動し、清掃で心を磨く」学校

<めざす学校像> 「信頼」

- 生徒の学びを大切にする学校
- 人が大切にされる温かな学校
- あいさつと歌声が響く、さわやかな学校
- 地域に感謝し、貢献する誠実な学校
- 「チーム村岡」として強固な小中連携を進める学校

<めざす教師像> 「信念」

- わかりやすい授業、考えさせる授業づくりに努める教師
- 率先垂範、百の論より一の実践に努める教師
- 生徒を褒め、認め、自信を持たせて伸ばす教師
- 目をかけ、声をかけ、心をかけ、願いをかけ、時をかけて師弟同行に努める教師

<めざす生徒像> 「自信」

- 目と心で気持ちの良いあいさつ、返事ができ、笑顔あふれる生徒
- 自ら学び、深く考える生徒
- 自他を思いやり、夢や希望の実現に向けて挑戦する生徒
- 「ふるさと村岡」に学び、愛し、語れる生徒

<めざす親・保護者像> 「共育」

- 子どもを温かく見守り、叱れる親・保護者
- 子どものために、教師とともに歩む親・保護者
- 子どもに夢や人生を語れる親・保護者
- 子どもに我慢することを教える親・保護者

【徳育】	【知育】	【体育】
①「命の大切さ」を基盤とした、全教育活動による心の教育の徹底 ②道徳教育、人権教育の充実、社会性の醸成 ③生徒会活動の活性化と、生徒自らが考え、行動する力の育成 ④豊かな心を育む読書活動の推進 ⑤学級づくりを核として、皆で支え合い、ともに生きる心の育成 ⑥よきリーダーの育成と、よき校風の醸成	①学習規律の徹底と、学習環境の充実 ②家庭との連携と、基本的学習習慣の定着 ③基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得と「確かな学力」の定着 (「言語活動の充実」した授業) ④自ら進んで学び、考え、表現する力の育成 (体験的手法、学び合い、話し合いによる学習、課題解決学習など) ⑤キャリアプランニング能力の育成	①「体を動かすことが楽しい」と感じさせる体育授業や体育的行事の工夫、展開 ②自分の体力や健康に関心を持つ態度や能力の育成 ③部活動等を通じた体力づくりの推進 ④ふるさとの食材を生かした食育の推進 ⑤自らの命を守り、安全を確保する能力を身に付ける教育の推進

目標達成への具体策

学校力	地域力	校種間連携
○あいさつ、返事の徹底 ○一人1台の生徒用タブレットPC活用促進や指導法・授業改善等、校内研修の充実 ○生徒のよさを「褒め、認める」指導を大切にしたい学び合う学級集団づくり ○一人一人の教育的ニーズを把握し、適切な教育支援を行うなど、特別支援教育の充実、推進 ○読書活動の充実 ○「不登校」「いじめ」の解消のため、未然防止、早期発見、早期対応に努める ○教育課題に向き合い、誠実、丁寧、待たない、逃げない姿勢 ○「温かく、厳しく、諦めない」生徒指導	○対話や親身の相談、子どもを伸ばすことにより家庭・保護者との強い信頼感の構築 ○家庭学習・自主学習の習慣づけ ○省テレビ、省モバイルの協力、推進 ○家庭読書のすすめ ○地域に学ぶ「ふるさと教育」の推進 ○地域行事等への積極参加 ○ふるさと魚料理、福祉教育、思春期講話、スマホ・ケータイ安全教室などへのゲストティーチャーの招聘 ○トライやる・ウィーク、福祉体験、田植え・稲刈り体験学習、ボランティア体験などを通じた地域の方々との心の交流	○キャリアノートの活用、研修を通じた、さらなる小中連携の推進 ○乗り入れ授業、出前授業、研究授業、部活動体験などを通じた小中間交流や、接続の円滑化 ○小6対象の一日体験入学の実施 ○オープンスクールやスーパー連携事業などを通じた児童生徒・教員の交流 ○環境体験活動を通じた園児との交流の推進 ○通級指導を通じた交流 ○出石特別支援学校みかた校との連携 ○部活動合同練習や、ふるさと学習、生徒会活動、ボランティア活動など、村岡高校との交流、連携